

## トヨタ環境活動助成プログラム2018年度

### 募集要項

トヨタ自動車株式会社

21世紀が真に豊かな社会として持続的に発展していくためには、環境と人間の活動との調和が不可欠です。私たちは、次の世代に対して豊かな地球を引き継ぐ責任があることを認識し、国境を越えた人類共通の課題である環境問題の解決にあたっていかなければなりません。そのためには、それぞれの主体が地球規模の視野を保ちながら、地域特性を十分考慮に入れた活動を着実に進めていくことが重要です。

20世紀、自動車は社会発展の一翼を担った一方、環境負荷を与えてきました。21世紀も自動車が有益な道具であり続けるためには、環境への対応が不可欠です。それなくして自動車産業の将来はなく、これを果たした自動車会社のみ社会で存立を許されると確信しております。トヨタ自動車株式会社（以下、「トヨタ自動車」と略す）は、世界中のお客様に愛され受け入れられるために環境を経営の最重要課題のひとつと位置づけ、多様な技術で環境負荷の低減に取り組むと同時に資源循環を推進いたします。

1999年トヨタ自動車は世界初の量産型ハイブリッド車の発売や環境マネジメントシステムの構築、環境情報の積極的な開示などが評価され、国連環境計画（UNEP）から「グローバル500賞」を受賞いたしました。これは、「持続可能な発展」のための環境保護および改善に功績のあった個人および団体に与えられる賞です。この受賞を記念し、社会貢献活動の一環として2000年度より民間非営利団体などの環境活動を支援するためトヨタ環境活動助成プログラムを実施しております。

本プログラムは、民間非営利団体(学校は対象外)・グループ等が実施する実践型プロジェクトを助成します。

助成対象テーマは「生物多様性」・「気候変動」とし、国内団体または国内・海外団体の協働による「海外プロジェクト」と、国内団体による「国内プロジェクト」、「国内小規模プロジェクト」を募集いたします。

**募集期間: 2018年4月6日(金)～2018年6月8日(金)(必着)**

## 1. プログラムの目的

トヨタ自動車は、豊かな社会の実現とその持続的な発展のため、社会の幅広い層と力を合わせ、持てる資源を有効に活用しながら、次の世代を担う人材の育成と社会的課題の解決に向け、各国・各地域の実情に合わせた活動を展開することを社会貢献の基本理念としています。

このような基本理念に基づき、トヨタ環境活動助成プログラムは、環境保全のための次の世代を担う人材の育成と環境問題の解決を目指す民間非営利団体等が実施するプロジェクトを助成しています。

## 2. 助成対象

トヨタ自動車は、「ものづくりは人づくり」と考え、技術開発、生産活動を通じた人材育成を企業活動の中心においてきました。本プログラムは、「ものづくりは人づくり」という視点から、環境課題の解決に取り組む人材育成や、実践的に環境課題解決に資するプロジェクトを推進する民間非営利団体の活動を助成します。

本年は前述の通り、「生物多様性」・「気候変動」を助成対象テーマとし、民間非営利団体等による実践的なプロジェクトを助成します。

### 【活動例】

- |                  |                          |
|------------------|--------------------------|
| ■絶滅危惧種・稀少種の保護    | ■生態系保全のための環境学習・体験の実践     |
| ■森林保全や再生のための植林活動 | ■省エネルギー、自然エネルギー等の活用・普及 等 |

## 3. 応募資格

民間非営利団体を助成対象とします。

- －NPO、NGO、公益法人、および法人格を持たない任意団体やグループを含みます。〔営利企業、国、地方自治体、学校（幼稚園から大学を含む）、国際機関（政府間協定で成立した機関）等は助成対象外とします。〕

## 4. 助成枠

### (1) 海外プロジェクト

- ・助成金額 : 上限700万円／件
- ・助成期間 : 2019年1月より2年以内
- ・助成金支払い : 助成開始時および1年目の報告書確認後
- ・プロジェクトの実施地域 : 海外
- ・対象 : 日本国内在住の団体、または国内在住団体と海外在住団体が協働して実施するプロジェクトを助成します。  
海外の団体のみでの活動は助成対象外です。ただし弊社海外事業体との協働の活動は対象とします。

### (2) 国内プロジェクト

- ・助成金額 : 上限300万円／件
- ・助成期間 : 2019年1月より2年以内
- ・助成金支払い(複数年) : 助成開始時および1年目の報告書確認後
- ・プロジェクトの実施地域 : 日本国内
- ・対象 : 日本国内在住の団体による、日本国内の環境を保全するための地域に根差した実践的な活動を助成します。

### (3) 国内小規模プロジェクト

- ・助成金額 : 上限100万円／件
- ・助成期間 : 2019年1月より2年以内
- ・助成金支払い(複数年) : 助成開始時および1年目の報告書確認後
- ・プロジェクトの実施地域 : 日本国内
- ・対象 : 当助成プログラムで今まで助成を受けたことのない日本国内  
在住団体による、日本国内の環境を保全するための地域に  
根差した実践的な活動を助成します。

## 5. 助成に伴う条件

### (1) 報告について

- ・プロジェクト実施期間中に1回、弊社東京本社にて実施状況を報告いただきます。
- ・プロジェクト代表者には、定期的に中間報告書(指定の様式によるプロジェクト経過報告および経過会計報告)を提出いただきます。
- ・中間報告書の提出に際しては、該当する領収書等の証票類のコピーを添付いただきます。
- ・また、助成期間終了時には、併せて完了報告書(指定の様式によるプロジェクト成果報告)も提出いただきます。
- ・領収書等の証票類は、助成期間終了後、3年間保管していただきます。
- ・助成プロジェクトの実施状況および成果の確認のため、活動地域を訪問させていただく場合があります。

### (2) プロジェクトの外部公表について

- ・当助成プログラムの助成を受けたことの告知、及び助成プロジェクトの成果の公表、関連イベント開催等、プロジェクトに関わる外部公表の際には、表示のガイドライン(<http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/environment/challenge6/ecogrant/download.html>)に従って、トヨタ自動車より助成を受けたことを明示していただきます。
- ・助成プロジェクトの中間・完了報告書、活動紹介の動画等をトヨタ自動車のホームページにて紹介します。また、同ホームページから各団体ホームページにリンクを貼りますので予めご了承ください。

## 6. 選考方法

### (1) 選考委員会

- ・助成プロジェクトは、トヨタ自動車が委嘱した下記委員からなる選考委員会で最終選考の上、決定します。

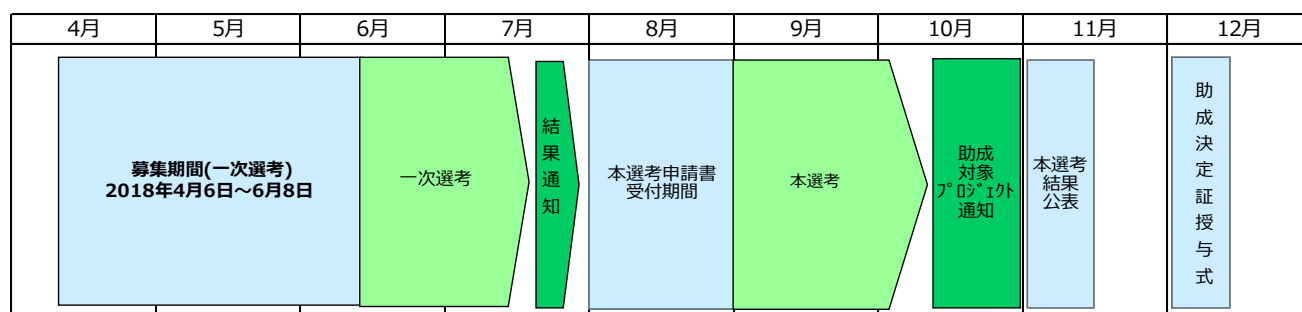
#### トヨタ環境活動助成プログラム選考委員(敬称略・順不同)

(2018年4月1日現在)

中村 桂子	J T生命誌研究館 館長(委員長)
鈴木 基之	東京大学 名誉教授・放送大学 客員教授
細田 衛士	慶應義塾大学経済学部 教授
籠橋 寛典	トヨタ自動車株式会社 常務理事

## (2) 選考のスケジュール

- 二段階の選考（一次選考、本選考）を行います。一次選考を通過したプロジェクトについては、さらに本選考用の申請書を提出していただきます。
- ただし、「国内小規模プロジェクト」で一次選考を通過したプロジェクトは、本選考申請書提出を免除いたします。



## (3) 選考結果の通知

### ① 一次選考

- 選考結果については、2018年7月中に各申請者(申請書に明記いただいたメールアドレス)に通知予定です。
- 本選考の詳細については、選考結果と共に一次選考通過プロジェクトの申請者へご連絡いたします。

### ② 本選考

- 選考結果については、2018年10月中に各申請者に通知予定です。
- 採択されたプロジェクトは、トヨタ自動車ホームページにおいて公表します。

## (4) 選考基準について

本プログラムの目的、助成対象に適合し、応募資格の要件を満たすプロジェクトのうち、次の基準に基づき、選考委員会が選考します。

### プロジェクト支援選考基準

項目	内容
実効性	明確な成果が期待されること
効率性	助成金額に見合った成果が期待されること
信頼性	社会的信用があり、プロジェクトの確実な実施が見込まれること
協働性	地域特性を考慮し、地域や企業、行政などを巻き込み協働する活動であること
自立性	助成終了後の活動の展開や成果物の活用法が明確で、自立していく道筋があるもの
発展性 (継続案件)	今までの活動や成果を通じて、更なる人的・地域的な広がりが期待されること

## 7. 応募手続きについて

### (1) 応募方法

- 規定の申請書式に必要事項をご記入の上、申請書受付専用メールアドレスまで電子メールに添付の上、お送りください。原則として、申請書の受付は電子メールのみとさせていただきます。やむを得ず郵送となる場合は事務局までご相談ください。

注1) 申請書は、原則エクセルファイルにて作成してください。

(PDFは、やむを得ず郵送の場合のみ)

注2) 申請書の容量は、1 MBまでとしてください。大きすぎるファイルを送付されますと申請書を受け付けられません。

注3) 一次選考では、申請書以外の書類を見ることはありません。参考資料等を送付しないでください。

### (2) 応募締切日

- **2018年6月8日（金）（必着）**

### (3) 申請書類

#### ① 一次選考用申請用紙

- 申請書式は、トヨタ自動車HPよりExcelファイルをダウンロードすることができます。  
( <http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/environment/challenge6/ecogrant/download.html> )

#### ② その他補足書類（本選考対象）

- 一次選考を通過したプロジェクトは、本選考用申請書と共に以下の書類を提出していただきます。
  - －申請団体の組織構成、活動概要、財務状況等が記載されたパンフレット等  
(パンフレットがない場合は、上記内容を含む書類を作成し、提出してください。)
  - －プロジェクト実施にあたりパートナー団体がある場合は、その概要書類
  - －プロジェクト実施予定地の写真

### (4) 申請用紙の記入にあたって

- 申請書は、日本語で、選考基準に示された内容を参考にして記入してください。
- 申請書は、所定の枚数以内でご記入ください。
- 申請金額は、日本円で記入してください。

### (5) 注意事項

- 一度提出いただいた申請書の差し替えはできませんので、ご注意ください。
- 採否の結果が出るまでは、常に連絡がとれるよう、連絡先変更については当プログラム事務局まで逐次ご連絡ください。
- 採否の理由については、お問い合わせに応じかねますので、あらかじめご了承ください。
- ご提出いただいた申請書・添付資料等は返却いたしかねます。また、申請書・添付資料を公表(除く個人情報)する場合があります。あらかじめご承知おきください。
- 助成に際しては契約を締結させていただきます。契約書様式(2018年度案)は、トヨタ自動車HPよりダウンロードすることができます。  
( <http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/environment/challenge6/ecogrant/download.html> )

- 申請書の内容は、提出される団体の意思決定機関での承認が得られていることが必要です。

(6) 申請書送付先(申請書受付専用)／問い合わせ先

**<申請書送付先>**

[1stage-application@g500.jp](mailto:1stage-application@g500.jp) (申請書受付専用メールアドレス)

注1) 申請書の電子ファイル名は、申請団体名に変更の上、お送りください。

注2) 申請書に個人情報が含まれる場合は、パスワードを設定の上、お送り下さい。  
その際、パスワードは別メールにて再度お送り下さい。

注3) 受信確認メールの返信はいたしませんので、開封確認メッセージを受け取れるように設定の上、申請書をお送りいただきますようお願いいたします。

**<問い合わせ先>**

トヨタ環境活動助成プログラム事務局

E-mail : [tmc-ecogrant@g500.jp](mailto:tmc-ecogrant@g500.jp) (申請書送付先とは異なりますのでご注意ください)

HP : <http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/environment/challenge6/ecogrant/>

注) 申請書の容量は、1 MBまでとしてください。

(7) 個人情報のお取り扱いについて

- 申請書にご記入いただきました個人情報は、当助成プログラムの運営管理の目的にのみ利用させていただきます。
- ご記入いただきました個人情報は、必要なセキュリティ対策を講じ、厳重に管理いたします。
- ご記入いただきました個人情報は、トヨタ自動車責任をもって廃棄いたします。  
申請いただいた方には、当助成プログラムに関わるご案内等を送付させていただくことがあります。ただし、ご要請があれば、すみやかに中止致します。